

# 頸城山系 火打山・妙高山残雪期山行

2019年5月2日～4日

<参加メンバー> 4人(男性2人、女性2人)

<天候> 5/2 晴れ(風やや強し) 5/3 晴れ(風やや強し) 5/4 快晴無風

## <コースタイム>

5/2(木)

前夜に大阪・梅田を22:25発の夜行バスで出発、長野駅5:28着 6:23発の列車で妙高高原駅7:07着 タクシーで笹ヶ峰7:50着 8:15スタート — 10:15黒沢(橋) — 12:35富士見平 — 13:50高谷池フュッテ、火打山ピークハント発 14:30 — 16:20火打山 — 17:30高谷池フュッテ

5/3(金)

4:30起床、6:15出発 — 7:15黒沢池フュッテのそば — 8:35妙高山の北側尾根1954m地点、この辺りから引き返す9:20発 — 10:55黒沢池フュッテのそば — 13:00高谷池フュッテ(小屋でまったりと過ごす)

5/4(土)

4:30起床、6:25出発 — 7:10富士見平 — 8:40黒沢(橋) — 9:35笹ヶ峰10:00タクシーで帰路に着く

## <山行の概要>

会としては初めての残雪期の頸城山系の山行であった。計画では火打山と妙高山の2峰を登る予定であったが、妙高山の方は5月でも大きく発達した雪庇があり、ブロック雪崩の跡が随所にあったことから、軟弱かもしれないが安全を優先して登頂は行わなかった。しかし、三日間とも天気がよく朝日岳辺りから西穂高岳辺りまで、北アルプスの端から端までの素晴らしい展望を楽しめた。

関西からは新潟県内の山域で遠いところではあるが、登山口から核心部へのアプローチは比較的楽で、火打山だけなら雪山初心者でも十分楽しめる。

私は知らなかったが、この山域は山屋よりもバックカントリーの人たちが圧倒的に多いのに驚いた。

## 初日(入山日) 5/2



1. 笹ヶ峰にあるキャンプ場の駐車場に到着し、出発の準備をする



2. 出発。少しだけ車道を歩き登山口へ



3. 登山口、ここから雪上を歩く



4. ブナの林が美しい



5. アイゼンを装着する



6. 立派なブナの大木が心を癒やしてくれる



7. ダケカンバの林では、曲がりもせず直幹型に育った巨木が多くあった



8. ダケカンバの林の中を進む



9. 黒沢に架かる小さな橋を渡る



10. 黒沢までは緩斜面であったが、過ぎてからは急斜面が続く



11. 急斜面を喘ぎながら登る



12. 鹿のウンチ 時々鹿の鳴き声が聞こえていた。しかし、写真には収めなかったがカモシカと思われるもう少しでかいウンチも確認した



13. 間違ったトレースについて行き、一寸やばいトラバースの後、テラス状のところで小休止



14. この辺りからはシラビソの純林の中を進む



15. シラビソの林が開けてきた



16. 富士見平手前に到着し、展望を楽しみながら休憩する



17. 緩斜面となり快適に歩を進める



18. この辺りが富士見平



19. 雪をまとった北アルプスの美しい稜線が目に飛び込んでくる



20. もう間もなく小屋か？



21. 高谷池ヒュッテが遠くに見えてきた



22. 黒沢岳を巻いて長いトラバースを進む



23. ようやく高谷池フュッテに到着した



24. 小屋で荷物を整理してから火打山のピークハントに出発する



25. 強風の中の火打山頂上



26. 噴煙を上げる焼山とアルプスの峰々



27. 高谷池ヒュッテに戻ってきた。一人テントキーパーしていたおっさんが出迎える



28. 夕陽に暮れなずむ火打山と焼山



29. 夕食時、小屋の中は自炊する人で賑やか

## 2日目 5/3



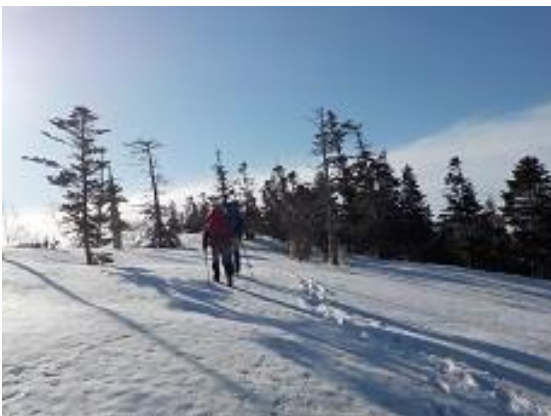
30. 早朝、ストレッチをして出発の準備をする



31. 朝陽の中を出発する



32. 朝陽を受けた北アルプスが美しい



33. 暫くは緩斜面の雪上を進む



34. 黒沢池フュッテが見えてきて、最短コースで急斜面を下降する



35. かなりの急斜面をトラバース気味に進む



36. 閉鎖中の黒沢池フュッテ



37. 大黒山の裾を巻くようにして進む



38. 気持ちのいい雪原状のところを進む



39. 雪原の中の一木のダケカンバ  
存在感が抜群



40. 岩肌が荒々しい妙高山が間近に見えてきた



41. 直登ルートを避けて遠回りしてきたが、こちら結構やばそう



42. 雪庇に用心して 1954m 地点まで進むことにした



43. 夏道が現われたところで暫し休憩



44. 1954m 地点からの妙高山  
結局、遠回りルートも安全ではないことを確認して引き返すこととなった



45. 来た道を引き返す



46. 雪庇が結構でかい



47. その2



48. 黒沢池フツテに近づいてきた



49. 黒沢池フツテは八角形の建物が特徴  
この時期はまだ営業していない



50. 火打山をバックにまったりと休憩する



51. 枯れ木の造形美 その1  
枯れてもなお天を突く勢い



52. 枯れ木の造形美 その2  
枯れてもなお風雪に耐え、凜と存在感を示す



53. 枯れ木の造形美 その3  
誰がこんなに直角に曲げたの？



54. 昼過ぎに高谷池フツテに戻ってきた



55. 小屋でまったりと時間を過ごし、夕陽に沈む山々の景色を楽しむ



56. 焼山の噴煙が夕焼けに染まって綺麗だった

## 3日目(下山日) 5/4



57. 一人テントを撤収する 後の3人は小屋泊りだった



58. テント場は 10 数張りあって、結構賑やかだった



59. 小屋の前で出発準備



60. 黒沢岳の巻き道へと出発する



61. 焼山は絶え間なく噴煙を上げている



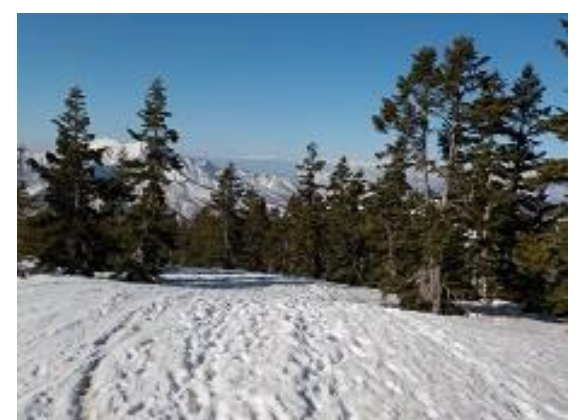
62. 北アルプスの山々 三日間の山行で一番綺麗だった



63. 火打山から焼山の稜線



64. 富士見平で全員集合



65. 富士見平のシラビソ林と北アルプス



66. 長い斜面をトラバースして下降する



67. ブナの実のイガ



68. イガが開いている様子 実は既に晩秋の頃、イガから出て今は雪の中



69. 黒沢の橋まで戻ってきた



70. 美しいブナ林の中を進む



71. カラマツの実



72. シラカンバの純林の中を進む



73. ようやく笹ヶ峰の駐車場に戻ってきた  
これで今回の山行は無事終了となった



### 「おまけ」その1

帰りの車中から妙高山を望む  
山容の綺麗な存在感のある山だ



### 「おまけ」その2

新潟県限定販売のサッポロビール「風味爽快ニシテ」  
日本で初めてビールを醸造したのは新潟県の人で、サッポロビールの前身となったそうである。旨かった。酒飲みが言うのだから間違いなし！